

お知らせ

オースチン彗星：観測キャンペーン

昨年発見されたオースチン彗星(1989c1)が、4月から5月にかけて北半球からの観測条件が良くなり、肉眼彗星になることが予想されています。ウエスト彗星以来の14年ぶりの好条件の彗星であり、各観測所での観測体制が準備されつつあります。しかし、彗星のような時間変化の激しい天体では、アマチュアの方の観測も重要です。ハレー彗星の時には多くのアマチュアの方に御協力をいただき、尾や核近傍現象の写真観測などで、太陽風やジェット現象などの様子が明らかになるという大きな成果が得られました。今回はハレー彗星の時のような世界的な観測網がつけられているわけではありません。しかし、その重要性を考えて、日本独自に協定観測日を定め、この期間を中心に多くの方の観測を呼びかけます。皆様の御協力をお願いいたします。

協定観測日：4月21~25日, 5月1~5日, 5月24~28日
 観測手法：写真観測(尾, 核近傍), 物理観測(光電, スベクトル)

観測報告：ハレー彗星観測報告用紙を用いてデータとともに報告のこと(報告用紙の請求は62円切手を貼った返信用封筒を同封の上, 報告先に請求のこと)

観測報告締切：1990年12月31日

報告先：〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台光学赤外線天文学研究系太陽系天体部門 オースチン彗星観測報告係まで

呼掛け人 国立天文台 磯部秀三
 中村 士
 渡部潤一
 東北大学 斎藤尚生

× × ×
 × ×

1990年1月の太陽黒点 (g, f) (国立天文台)

1	12,	112	11	10,	117	21	17,	97
2	13,	135	12	13,	116	22	15,	284
3	12,	126	13	15,	117	23	—,	—
4	17,	131	14	13,	86	24	18,	219
5	14,	123	15	10,	61	25	20,	176
6	11,	102	16	—,	—	26	15,	220
7	10,	52	17	12,	122	27	21,	210
8	12,	119	18	15,	85	28	11,	152
9	13,	92	19	—,	—	29	—,	—
10	—,	—	20	—,	—	30	14,	165
(相対数月平均値: 163.7)						31	—,	—

◇ 4月の天文暦 ◇

日	時	分	記	事
2	19	24	上	弦
10	12	18	望	
13	5	30	月	最遠
14	0	31	水星	東方最大離角
14	8	10	天王星	留
16	20	24	海王星	留
18	16	03	下	弦
24	0	21	水星	留
25	13	27	朔	
26	1	50	月	最近

◇ 4月の日月惑星運行図 ◇

